

2023年度 医療の質可視化プロジェクト

～第2報では取り扱う指標の情報を掲載します～

医療の質可視化プロジェクトとは、指標を活用して自院の診療・ケアの質を可視化するプロジェクトです。病院の機能・規模等にかかわらず、医療の質のさらなる向上を目指すオールジャパンの取組です。

<ポイント>

- ◆医療安全, 感染管理, ケアに関連した代表的な指標を計測します
- ◆経時的变化や他施設比較から自院の現状を客観的に把握できます
- ◆指標を活用した質改善に関するセミナーに無料で参加できます



本プロジェクトの流れ

指標計測・データ提出



院内にあるデータを使って、定められた指標を計測し、機構に提出します。

フィードバックデータの確認



提出いただくデータは機構にて棒グラフや表にまとめてフィードバックします。

セミナー参加 (企画・調整中)



集計結果の解釈を深めるノウハウの提供、質改善の契機となるセミナーを開催予定です。

	指標提出期間	計測対象期間	フィードバック時期(予定)
1回目	2023年7月1日(木) ～7月31日(月)	・2022年10月1日～12月31日【E期間】 ・2023年1月1日～3月31日【F期間】	2023年8月31日(木)
2回目	2023年10月2日(月) ～11月30日(木)	・2023年4月1日～6月30日【G期間】 ・2023年7月1日～9月30日【H期間】	2023年12月25日(月)

1回目に間に合わない場合は2回目だけでもOKです。また、計測が難しい指標があれば割愛してもかまいません。無理のない範囲で計測をお願いします。

協力病院
大募集!!

実施期間：2023年7月1日～2024年3月31日

参加対象：指標を用いた取組に関心のあるすべての病院

お申込期限：7月31日(月)

お申込みはQRコード又は下記URLより

<https://hosp.jcqh.c.or.jp/public/seminar/view/4091>

参加費無料



医療の質可視化プロジェクト
医療の質可視化プロジェクト
医療の質可視化プロジェクト



<お問い合わせ> 医療の質向上のための体制整備事業 事務局
E-mail: qi_pilot@jcqh.c.or.jp TEL: 03-5217-2326



公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

取り扱う **指標** について

計測手順書は
6月上旬に公開!

昨年度と同じ指標ですので、他施設比較だけでなく
経時的変化も確認できます。

#	指標名	分子	分母	データソース ^{*1}
医療安全				
1	入院患者の転倒・転落発生率	入院患者に発生した転倒・転落件数	入院患者延べ数	SV ^{*2}
2	入院患者での転倒転落によるインシデント影響度分類レベル3b以上の発生率	入院患者に発生したインシデント影響度分類レベル3b以上の転倒・転落件数	入院患者延べ数	SV
3	リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率	分母のうち、肺血栓塞栓症の予防対策が実施された患者数	肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数	DPC
感染管理				
4	血液培養2セット実施率	血液培養オーダが1日に2件以上ある日数	血液培養オーダ日数	DPC
5	広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率	分母のうち、入院日以降抗菌薬処方日までの間に細菌培養同定検査が実施された患者数	広域スペクトルの抗菌薬が処方された退院患者数	DPC
6	手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率	分母のうち、手術開始前1時間以内に予防的抗菌薬が投与開始された手術件数	手術室で行った手術件数	SV
ケア				
7	d2(真皮までの損傷)以上の褥瘡発生率	d2(真皮までの損傷)以上の院内新規褥瘡発生患者数	入院患者延べ数	SV
8	65歳以上の患者の入院早期の栄養ケアアセスメント実施割合	分母のうち、入院3日目までに栄養ケアアセスメントが行われたことがカルテに記載された患者数	65歳以上の退院患者数	SV
9	身体拘束率	分母のうち、物理的身体拘束を実施した患者延べ数	入院患者延べ数	SV

*1: データソースとは、当該指標の計測に必要な診療情報です(DPC: DPCデータ SV: サーベイランスデータ)。

*2: SV(サーベイランスデータ)は、診療記録(電子カルテや看護記録など)や独自調査などのデータを想定しています。サーベイランスデータを用いる指標の場合は、各施設の実情に応じて測定可能なデータをご利用ください。

詳細は **可視化プロジェクト専用ページ** をご覧ください。

https://jq-qiconf.jcqhc.or.jp/event/kashika_project_2023/